

令和3年度

第9回市政モニターアンケート

北九州市の農林水産業が有する多面的機能と
地産地消の取組について

北九州市広報室広聴課

目 次

I	調査の概要	1
II	市政モニターの構成	1
III	調査結果	
(1)	「多面的機能」の認知度	2
(2)	「多面的機能」が健全に機能するために重要だと思うもの	3
(3)	農林水産業が営まれることが「多面的機能」に役立っていると思うか	4
(4)	「多面的機能」の維持のために自身ができること、やってみようと思うこと	5
(5)	「多面的機能」の維持や向上に関する意見	6
(6)	「地産地消」の認知度	7
(7)	農林水産物を購入する場所	8
(8)	農林水産物を購入する際、産地をどの程度考慮するか	9
(9)	市内産の農林水産物を買ってもらうために重要であると考えること	10
(10)	市内産の農林水産物の消費を増やすために効果的だと思うこと	11
(11)	どのような情報があれば市内の農林水産業に理解が深まると思うか	12
(12)	SNS 等を利用して農林水産物の情報を収集しようとする際に利用するツール	13
(13)	地産地消の取組や市内の農林水産業・農林水産物に期待すること	14
IV	全体考察	16

I 調査の概要

調査対象者	市政モニター 149人		
回答者数	132人 (回収率 88.6%)		
調査実施日	令和4年1月17日から令和4年1月31日		
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査		
調査実施課	北九州市広報室広聴課	TEL 5 8 2 - 2 5 2 7	
調査依頼課	北九州市産業経済局農林課	TEL 5 8 2 - 2 0 7 8	

II 市政モニターの構成

R4.1.17

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	149 (100.0%)	67 (45.0%)	82 (55.0%)	区 別			
10歳代	1 (0.7%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	門司区	14 (9.4%)	5 (3.4%)	9 (6.0%)
20歳代	21 (14.1%)	6 (4.0%)	15 (10.1%)	小倉北区	27 (18.1%)	11 (7.4%)	16 (10.7%)
30歳代	21 (14.1%)	10 (6.7%)	11 (7.4%)	小倉南区	31 (20.8%)	13 (8.7%)	18 (12.1%)
40歳代	24 (16.1%)	11 (7.4%)	13 (8.7%)	若松区	15 (10.1%)	7 (4.7%)	8 (5.4%)
50歳代	22 (14.8%)	9 (6.0%)	13 (8.7%)	八幡東区	12 (8.1%)	5 (3.4%)	7 (4.7%)
60歳代	22 (14.8%)	11 (7.4%)	11 (7.4%)	八幡西区	38 (25.5%)	20 (13.4%)	18 (12.1%)
70歳以上	38 (25.5%)	19 (12.8%)	19 (12.8%)	戸畑区	12 (8.1%)	6 (4.0%)	6 (4.0%)

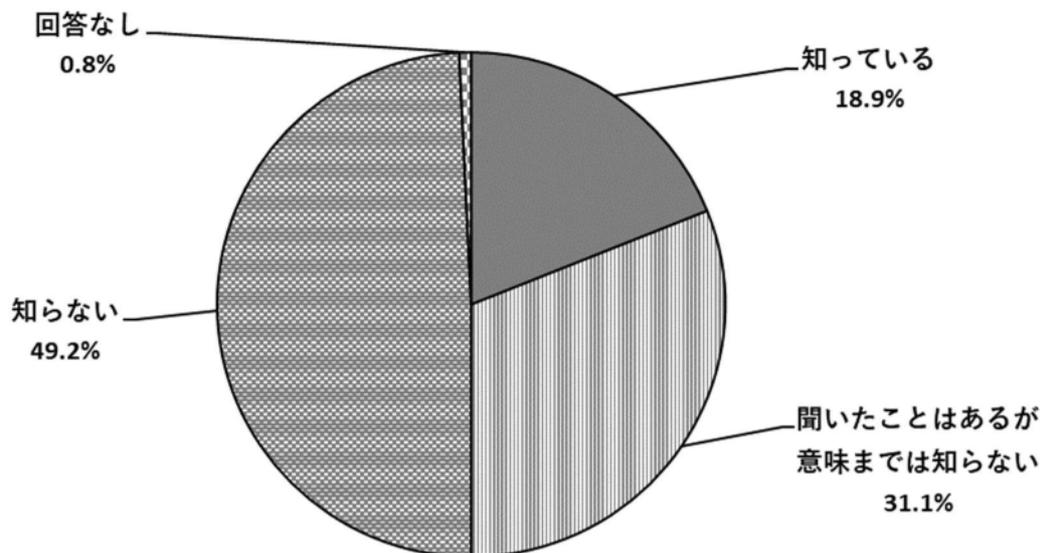
※モニター総数149名のうち郵送モニター22名、ネットモニター127名

※数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は、一致しない場合があります。

Ⅲ 調査結果

(「多面的機能」の認知度)

問1 あなたは、「多面的機能」という言葉をご存知ですか。

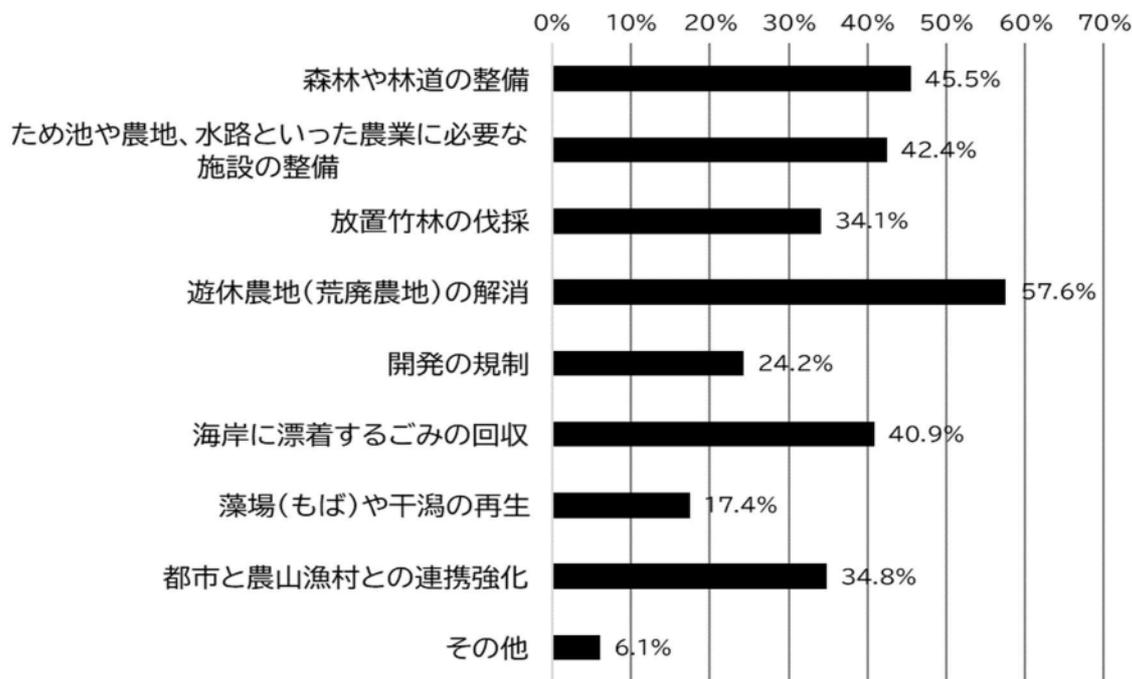


		回答者数	知っている	聞いたことはあるが意味までは知らない	知らない	回答なし
全体		132	18.9%	31.1%	49.2%	0.8%
性別	男性	57	26.3%	28.1%	43.9%	1.8%
	女性	75	13.3%	33.3%	53.3%	0.0%
年代別	20歳代	17	23.5%	47.1%	29.4%	0.0%
	30歳代	16	18.8%	43.8%	37.5%	0.0%
	40歳代	22	9.1%	18.2%	72.7%	0.0%
	50歳代	20	15.0%	25.0%	60.0%	0.0%
	60歳代	21	23.8%	28.6%	47.6%	0.0%
	70歳代	32	18.8%	34.4%	46.9%	0.0%
	80歳代	4	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%
区別	門司区	14	7.1%	42.9%	50.0%	0.0%
	小倉北区	24	16.7%	29.2%	54.2%	0.0%
	小倉南区	28	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%
	若松区	13	15.4%	38.5%	46.2%	0.0%
	八幡東区	10	40.0%	30.0%	30.0%	0.0%
	八幡西区	33	24.2%	27.3%	45.5%	3.0%
	戸畑区	10	20.0%	30.0%	50.0%	0.0%

「多面的機能」という言葉を「知っている」と答えた方は 18.9%にとどまり、「知らない」と答えた方は約半数の 49.2%となっています。特に40歳代と50歳代において「知らない」と答えた方の割合が、他の年齢層よりも多くなっています。

(「多面的機能」が健全に機能するために重要だと思うもの)

問2 あなたは「多面的機能」が健全に機能するためにはどのようなことが必要であると考えますか。重要だと思うものを3つ選んでください。

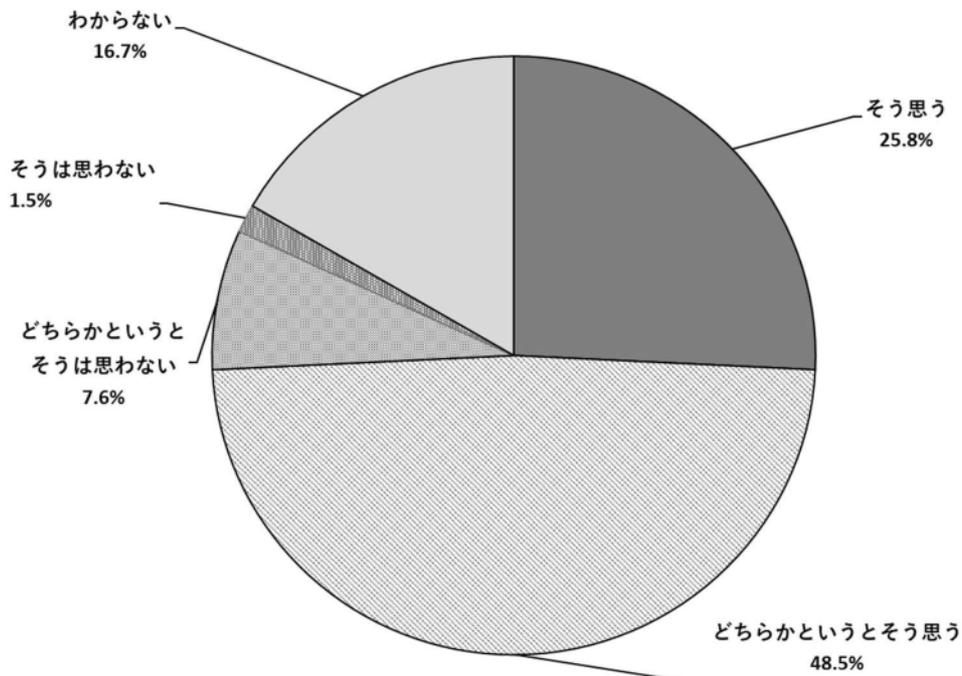


		回答者数	森林や林道の整備	ため池や農地、水路といった農業に必要な施設の整備	放置竹林の伐採	遊休農地(荒廃農地)の解消	開発の規制	海岸に漂着するごみの回収	藻場(もば)や干潟の再生	都市と農山漁村との連携強化	その他
全体		132	45.5%	42.4%	34.1%	57.6%	24.2%	40.9%	17.4%	34.8%	6.1%
性別	男性	57	45.6%	40.4%	43.9%	52.6%	35.1%	38.6%	22.8%	29.8%	5.3%
	女性	75	45.3%	44.0%	26.7%	61.3%	16.0%	42.7%	13.3%	38.7%	6.7%
年代別	20歳代	17	41.2%	41.2%	17.6%	47.1%	5.9%	52.9%	0.0%	58.8%	0.0%
	30歳代	16	75.0%	50.0%	31.3%	37.5%	6.3%	62.5%	18.8%	37.5%	0.0%
	40歳代	22	40.9%	31.8%	31.8%	63.6%	22.7%	27.3%	18.2%	45.5%	9.1%
	50歳代	20	50.0%	40.0%	50.0%	65.0%	25.0%	40.0%	35.0%	50.0%	0.0%
	60歳代	21	47.6%	42.9%	28.6%	61.9%	42.9%	33.3%	9.5%	14.3%	19.0%
	70歳代	32	34.4%	46.9%	40.6%	62.5%	31.3%	40.6%	18.8%	21.9%	6.3%
	80歳代	4	25.0%	50.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	14	50.0%	28.6%	14.3%	50.0%	28.6%	42.9%	28.6%	50.0%	7.1%
	小倉北区	24	45.8%	45.8%	41.7%	70.8%	29.2%	33.3%	16.7%	33.3%	4.2%
	小倉南区	28	42.9%	35.7%	28.6%	71.4%	21.4%	50.0%	17.9%	35.7%	3.6%
	若松区	13	53.8%	30.8%	23.1%	30.8%	38.5%	46.2%	7.7%	15.4%	7.7%
	八幡東区	10	30.0%	40.0%	20.0%	60.0%	10.0%	40.0%	20.0%	50.0%	0.0%
	八幡西区	33	48.5%	51.5%	45.5%	42.4%	24.2%	45.5%	15.2%	24.2%	6.1%
	戸畑区	10	40.0%	60.0%	50.0%	80.0%	10.0%	10.0%	20.0%	60.0%	20.0%

「多面的機能」が健全に機能するために重要だと思うものは、「遊休農地(荒廃農地)の解消」が57.6%で最も多く、次いで「森林や林道の整備」が45.5%、「ため池や農地、水路といった農業に必要な施設の整備」が42.4%となっています。

(農林水産業が営まれることが「多面的機能」に役立っていると思うか)

問3 北九州市内には市の面積の4割を占める森林や約 3000 ヘクタールの農地、総延長120km に及ぶ海岸線などがありますが、あなたはこれらの場所で農林水産業が営まれることが「多面的機能」に役立っていると思いますか。

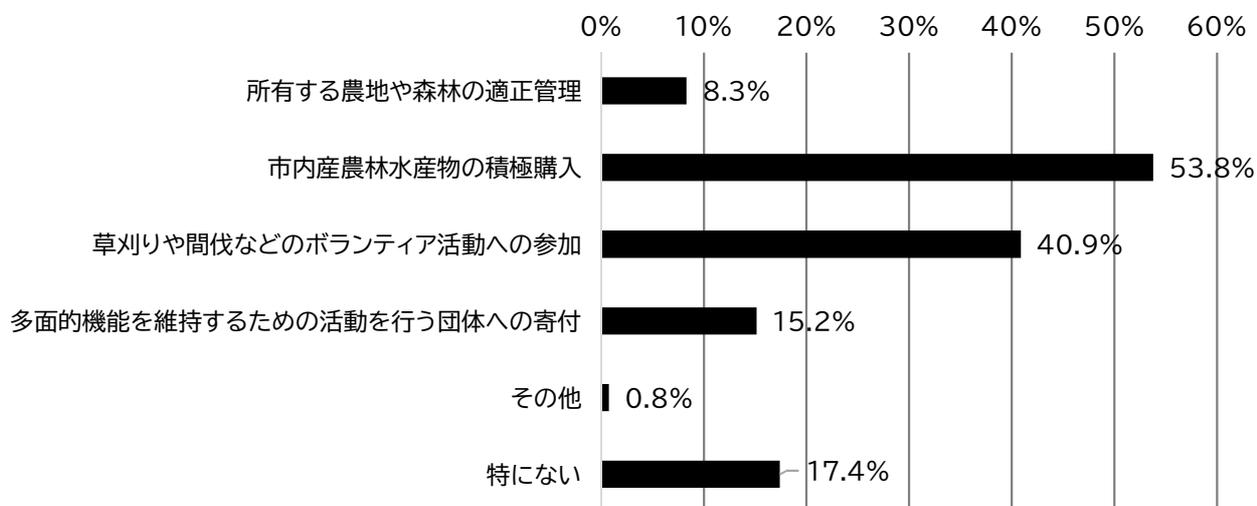


		回答者数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そうは思わない	わからない
全体		132	25.8%	48.5%	7.6%	1.5%	16.7%
性別	男性	57	26.3%	49.1%	12.3%	1.8%	10.5%
	女性	75	25.3%	48.0%	4.0%	1.3%	21.3%
年代別	20歳代	17	5.9%	58.8%	5.9%	11.8%	17.6%
	30歳代	16	6.3%	68.8%	12.5%	0.0%	12.5%
	40歳代	22	9.1%	54.5%	4.5%	0.0%	31.8%
	50歳代	20	40.0%	35.0%	10.0%	0.0%	15.0%
	60歳代	21	28.6%	38.1%	14.3%	0.0%	19.0%
	70歳代	32	43.8%	43.8%	3.1%	0.0%	9.4%
	80歳代	4	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	14	35.7%	28.6%	0.0%	0.0%	35.7%
	小倉北区	24	16.7%	58.3%	16.7%	0.0%	8.3%
	小倉南区	28	28.6%	50.0%	3.6%	0.0%	17.9%
	若松区	13	23.1%	61.5%	0.0%	7.7%	7.7%
	八幡東区	10	30.0%	40.0%	20.0%	0.0%	10.0%
	八幡西区	33	21.2%	54.5%	6.1%	3.0%	15.2%
	戸畑区	10	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%	30.0%

農林水産業が営まれることが「多面的機能」に役立っていると思うかについて、「そう思う」と答えた方が25.8%、「どちらかというと思う」と答えた方が48.5%となっており、およそ4分の3の方が農林水産業が営まれることが「多面的機能」に役立つと考えていることが伺えます。

(「多面的機能」の維持のために自身ができること、やってみようと思うこと)

問4 「多面的機能」の維持のためにあなた自身ができること、やってみようと思うことはありますか。あてはまるものを全て選んでください。



		回答者数	所有する農地や森林の適正管理	市内産農林水産物の積極購入	草刈りや間伐などのボランティア活動への参加	多面的機能を維持するための活動を行う団体への寄付	その他	特にない
全体		132	8.3%	53.8%	40.9%	15.2%	0.8%	17.4%
性別	男性	57	14.0%	63.2%	50.9%	21.1%	0.0%	12.3%
	女性	75	4.0%	46.7%	33.3%	10.7%	1.3%	21.3%
年代別	20歳代	17	0.0%	52.9%	17.6%	17.6%	0.0%	23.5%
	30歳代	16	6.3%	43.8%	50.0%	25.0%	0.0%	12.5%
	40歳代	22	9.1%	50.0%	45.5%	18.2%	0.0%	18.2%
	50歳代	20	10.0%	65.0%	35.0%	5.0%	0.0%	10.0%
	60歳代	21	14.3%	28.6%	42.9%	9.5%	4.8%	33.3%
	70歳代	32	3.1%	71.9%	46.9%	15.6%	0.0%	12.5%
	80歳代	4	50.0%	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	14	0.0%	42.9%	35.7%	21.4%	0.0%	21.4%
	小倉北区	24	8.3%	50.0%	45.8%	8.3%	0.0%	12.5%
	小倉南区	28	3.6%	50.0%	57.1%	7.1%	0.0%	14.3%
	若松区	13	7.7%	61.5%	46.2%	23.1%	7.7%	15.4%
	八幡東区	10	10.0%	80.0%	10.0%	30.0%	0.0%	10.0%
	八幡西区	33	9.1%	54.5%	36.4%	9.1%	0.0%	24.2%
	戸畑区	10	30.0%	50.0%	30.0%	40.0%	0.0%	20.0%

「多面的機能」の維持のために自身ができること、やってみようと思うことは、「市内産農林水産物の積極購入」が 53.8%と最も多く、次いで「草刈りや間伐などのボランティア活動への参加」が 40.9%、「特にない」が 17.4%となっています。

(「多面的機能」の維持や向上に関する意見)

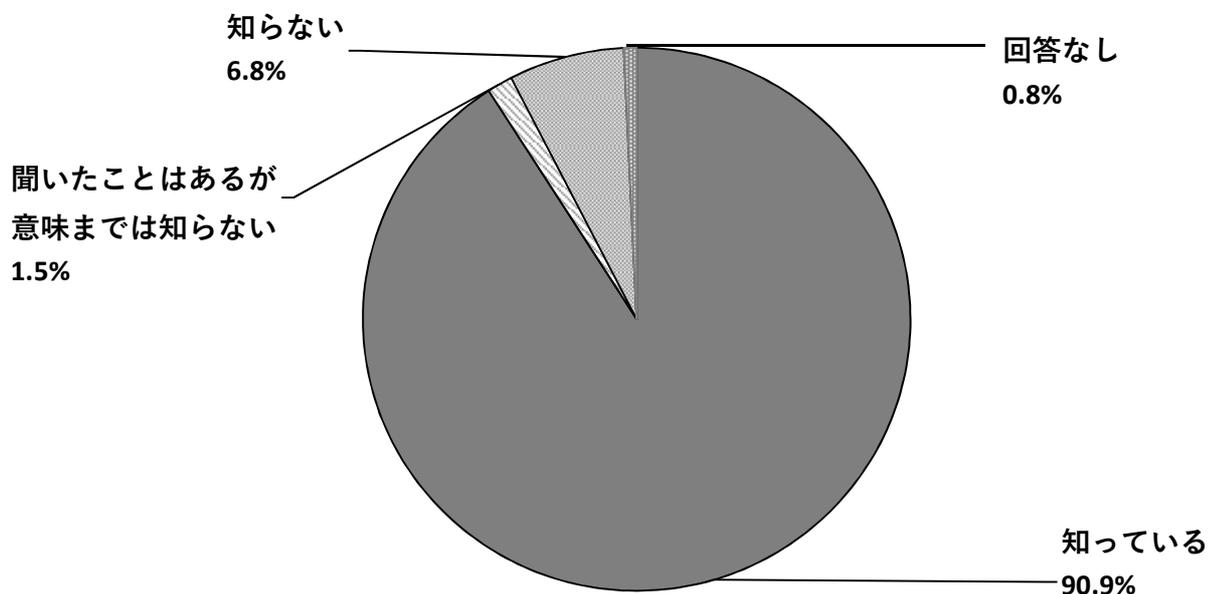
問5 「多面的機能」の維持や向上に関してご意見のある方は、ご自由にご記入ください(一部抜粋)。

- ・ ゴミ拾いや草刈りを家族で参加して楽しめるイベントにしてみてもどうか。子どもも楽しみながら学ぶことができると思う。
- ・ 規制を緩和して農地や家屋を購入しやすくするなど、北九州市への移住やスローライフを支援する体制づくりをするだけでも多面的機能が向上するのではないかと。
- ・ 多面的機能を維持する活動の内容があまり周知されておらず、認知されていないように思えるので、もっと市民に広報してもらいたい。
- ・ 農業を目指していて勉強中だが、農地を探すのに苦労している。使っていない畑が多くありそうだが、色々な規制があってまだ農地に出会えてない。例えば、行政が間に入って紹介してくれるとよい。
- ・ 草刈りや間伐のボランティアは少し危険が伴い、難しいこともある。これらの活動に寄付などで応援する。
- ・ 多面的機能をより拡充するためには、当事者の努力だけでは無理。行政などの大きな力が必要だと思う。
- ・ 多面的機能の維持のため何をすればよいのかが分からない。とにかく情報が欲しい。
- ・ 放置竹林の解消は、災害対策として市民の安全安心な暮らしを推進していく上で重要である。竹を活用する拠点を検討されたい。竹が減れば広葉樹などを植えて森の再生もできるはず。森が再生されれば災害リスクも減り、市民の安全安心な暮らしに寄与する。

【地産地消に関する質問】

(「地産地消」の認知度)

問6 あなたは「地産地消」という言葉をご存知ですか。

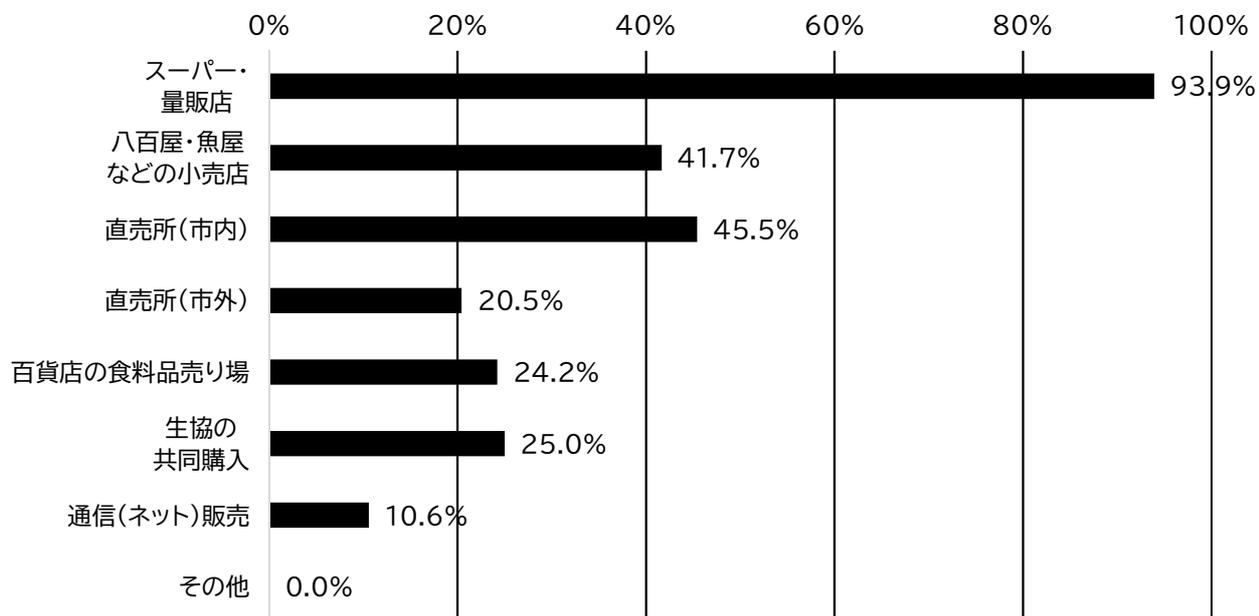


		回答者数	知っている	聞いたことはあるが意味までは知らない	知らない	回答なし
全体		132	90.9%	1.5%	6.8%	0.8%
性別	男性	57	91.2%	3.5%	5.3%	0.0%
	女性	75	90.7%	0.0%	8.0%	1.3%
年代別	20歳代	17	88.2%	0.0%	11.8%	0.0%
	30歳代	16	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	22	81.8%	4.5%	13.6%	0.0%
	50歳代	20	95.0%	0.0%	5.0%	0.0%
	60歳代	21	85.7%	4.8%	9.5%	0.0%
	70歳代	32	93.8%	0.0%	3.1%	3.1%
	80歳代	4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	14	78.6%	7.1%	7.1%	7.1%
	小倉北区	24	91.7%	0.0%	8.3%	0.0%
	小倉南区	28	92.9%	0.0%	7.1%	0.0%
	若松区	13	92.3%	0.0%	7.7%	0.0%
	八幡東区	10	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	33	90.9%	3.0%	6.1%	0.0%
	戸畑区	10	90.0%	0.0%	10.0%	0.0%

「地産地消」という言葉を「知っている」と答えた方は90.9%となっており、年齢を問わず認知されていることが伺えます。

(農林水産物を購入する場所)

問 7 あなたは農林水産物を購入する場合、主にどのようなところで購入しますか。選択肢の中から、よく利用する場所を3つ選んでください。



	回答者数	スーパー・量販店	八百屋・魚屋などの小売店	直売所(市内)	直売所(市外)	百貨店の食料品売り場	生協の共同購入	通信(ネット)販売	その他	
全体	132	93.9%	41.7%	45.5%	20.5%	24.2%	25.0%	10.6%	0.0%	
性別	男性	57	93.0%	40.4%	45.6%	17.5%	26.3%	21.1%	19.3%	0.0%
	女性	75	94.7%	42.7%	45.3%	22.7%	22.7%	28.0%	4.0%	0.0%
年代別	20歳代	17	94.1%	29.4%	23.5%	11.8%	23.5%	23.5%	5.9%	0.0%
	30歳代	16	100.0%	37.5%	37.5%	18.8%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	40歳代	22	95.5%	18.2%	40.9%	27.3%	31.8%	22.7%	22.7%	0.0%
	50歳代	20	100.0%	45.0%	55.0%	20.0%	10.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	21	85.7%	47.6%	57.1%	23.8%	42.9%	28.6%	9.5%	0.0%
	70歳代	32	90.6%	62.5%	50.0%	18.8%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%
	80歳代	4	100.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
区別	門司区	14	92.9%	50.0%	35.7%	21.4%	21.4%	28.6%	7.1%	0.0%
	小倉北区	24	95.8%	50.0%	12.5%	16.7%	45.8%	33.3%	12.5%	0.0%
	小倉南区	28	85.7%	39.3%	60.7%	17.9%	21.4%	17.9%	10.7%	0.0%
	若松区	13	100.0%	30.8%	69.2%	15.4%	23.1%	23.1%	15.4%	0.0%
	八幡東区	10	100.0%	60.0%	30.0%	20.0%	10.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	33	93.9%	30.3%	51.5%	30.3%	15.2%	21.2%	15.2%	0.0%
	戸畑区	10	100.0%	50.0%	60.0%	10.0%	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%

農林水産物を購入する場所は、「スーパー・量販店」が93.9%と圧倒的に多く、次いで「直売所(市内)」が45.5%、「八百屋・魚屋などの小売店」が41.7%となっています。